

わだいの



▲講演を行う松野さん

2012天草つのでフェスタ 御所浦

海を越え 心でつなく まちづくり

2月11日、「2012天草つのでフェスタ」が御所浦島開発総合センターで開かれ、約320人が参加しました。催しでは、まず地元の勇壮な嵐口春日太鼓の演奏が披露された後、ソウルオリンピック・女子10,000m代表で、熊本市議会議員の松野明美さんが「いちばんじゃなくて、いいんだね～生まれてきてくれて、ありがとう～」と題して講演。競技者時代のエピソードや障がいを持った自身の子どもの子育てについて話され、来場者は熱心に聞き入っていました。

また、御所浦北中学校2年の久木山蓮さんが人権に関する作文を発表したほか、市社会福祉協議会御所浦支所職員や有志による介護に関する寸劇の披露、小・中学生が書いた標語などの展示もありました。



市社会福祉協議会御所浦支所職員や有志による寸劇

天草ロードレース大会 新和

快走！激走！新和路を駆ける！

2月5日、「第17回天草ロードレース大会」が新和町民センター前をスタート・市新和支所前をフィニッシュとする1.5km、3km、5km、10kmのコースで開催され、438人が出場しました。これは、新和町出身で現在中央大学陸上競技部駅伝監督の浦田春生さんが、平成4年に開かれたバルセロナオリンピック・男子10,000mに出場したことを記念して行われているもの。今回は、浦田さんご本人も来場され1.5kmに出場。小雨が降る天候でしたが、小学生や家族で出場したランナーたちと会話を交わしながら、和気あいあいの中で走っていました。

また、10kmには高校生など県内外の有力選手が多数出場し、白熱したレースを繰り広げていました。



▲浦田さん(左から2人目)といっしょに走る参加者



▲白熱した10kmのレース

下浦町ふるさと祭り 本渡

石工とポンカンの里でにぎわう

2月5日、「第20回下浦町ふるさと祭り」が下浦運動広場で開かれ、市内外から約4,000人が来場しました。会場では、下浦ならではの石製品やポンカンの展示・販売をはじめ、町内外から23の団体が出店。また、特設ステージではポンカンを制限時間内にどれだけ早く積み上げられるかを競う、恒例の“ポンカンピラミッド”が行われ、ハラハラドキドキの展開に会場は大いに盛り上がっていました。このほか、くまモン体操やもち投げもあり、にぎわいを見せていました。



▲そのまま！崩れないで！“ポンカンピラミッド”のようす



▲教職員の体にくらいつく生徒

河浦高校・送別ラグビー大会 河浦

感謝と激励のぶつかり合い

1月31日、河浦高校の3年生の男子生徒と男性教職員対抗による「第35回送別ラグビー大会」が、同校グラウンドで行われました。これは、師弟間の絆をいっそうはぐくむことなどを目的に、毎年開催しているもの。前・後半15分で行われた試合には、生徒21人と教職員18人が出場。両者ともに感謝と激励の思いがこもった、激しい肉弾戦が繰り広げられました。結果は、生徒チームが7対0で4年ぶりに勝利。生徒たちが通算成績を9勝23敗3引き分けとしました。



▲菜の花を楽しみながら歩く参加者

くすぼ菜の花と神々の郷ウォーク 有明

咲き誇る菜の花を楽しむ

1月29日、「くすぼ菜の花と神々の郷ウォーク」が楠浦公民館を発着とする6.7kmと2.5kmのコースで開かれ、市内外から約550人が参加しました。これは、くすぼ菜の花フェスタ実行委員会が実施しているもので、今年で4回目。

この日は好天に恵まれ、参加者は田園に咲き誇る菜の花を楽しみながら、氏神がまつられている9つの神社等を参拝し同所でぜんざいや漬物などのふるまいを堪能。また、ゴール後はお楽しみ抽選会やもち投げも行われ、楽しいひとときを過ごしていました。

映画「ワッゲンオッゲン」の撮影始まる 牛深

地元住民も熱演！

1月29日、牛深を舞台にした映画「ワッゲンオッゲン（禰映監督・大竹しのぶさん主演）」の撮影がスタートしました。ワッゲンオッゲンという題名は、“あなたの家、私の家”という意味の方言で、活気が薄らぐ牛深のまちを、女性たちが何とかしようとする物語です。

この日は、地元住民も群衆役や演者として多数参加する中、真浦地区の船だまりや遠見山のアスレチック広場で撮影を実施。また、2月4日には牛深支所でも行われました。なお、この映画は今年の秋ごろに公開される予定です。



▲本番前の予行演技を行う俳優の岡元八郎さん(右)と地元の出演者(左)